

地域が変わる——



地域活性化の現場

長 浜

©一般社団法人バイオビジネス創出研究会 ▶ <http://biobiz.jp>

「バイオの力」で事業の可能性を広げる。 地域企業をサポートし新事業の種を育てていく。

バイオ関連分野の事業の創出を目指す長浜バイオインキュベーションセンターや長浜バイオ大学などが集まり、バイオ事業創出機能が高められ、バイオ研究の集積地となって久しい長浜市。これまでに、ピワマスの長浜ブランド化プロジェクトや植物工場モデル事業といった成果を生み出してきた。最近では長浜発の事業シーズは多様化が進み、バイオ系事業の枠を超えてさまざまな地域産業へ波及している。最新の長浜バイオビジネス事情を紹介する。

アユの冷水病対策酵素から 養殖業者の収益力がアップ

アユを冷水病に強い体質にしてくれる酵素を、長浜バイオインキュベーションセンターの入居企業が開発した。2種類の酵素を餌に混ぜたり、養殖池へ投入すると稚魚の死亡率が2割も減少した。この酵素はイースト菌より抽出した天然酵母を濃縮ブレンドした複合酵素で、有機物の消臭や分解の促進、微生物を活性化させる働きがある。これをアユの冷水病対策に限定せず、養殖の技術改善につなげたのが「一般社団法人バイオビジネス創出研究会」だ。プロジェクトを立ち上げ、さまざまな実験を行った結果、アユ以外の淡水魚や魚介類にも有効であることがわかった。冷水病以外の病気にも耐性ができうえ、水質などの環境の浄化も可能で、地元の養殖業者の技術力・収益力の向上に貢献した。

長浜バイオインキュベーションセンターを運営する同社は、県内外の23の企業会員と50名余りの個人会員から成り立つ。長浜市、長浜バイオ大学、長浜商工会議所などとともに「長浜バイオクラスターネットワーク」を形成。地域や産業の中にあるニーズを発掘し、それを解決できるシーズとマッチングさせる



1次産業活性化に向けた情報交換セミナー「アグリビジネスカフェ」

コーディネーターの役割を果たしている。「弊社が設立された当初から、私たちは地元企業の海外での商談をサポートしたり、経営や販路拡大のための講座を開いて、異業種間の企業交流を図ってきました。目先の利益を追求のではなく、300年先も会社を続けることを考える、若手経営者向けの300年



韓国・ソウルで開催された産業フェアにブースを出展

経営塾も好評です」と話すのは、バイオビジネス創出研究会代表理事の大塚良彦さん。現在は自動車内装材を製造しているが、300年前に長浜で蚊帳づくりを始め、地場産業へと発展させた歴史をもつ老舗企業の経営者だ。

稲わらのバイオエタノール化などで 周辺地域への波及効果も期待

同社はかねてから複合酵素の機能に着目し、農業や製造業の分野でも活用できるようコーディネートしてきた。地元の機械工具商社に複合酵素の代理店参入という「異業種への挑戦」を提案。2年かかり、契約までこぎつけた。商社の幅広いネットワークを利用し、より多くの人に酵素の働きを知ってほしいと同社は考えている。「地域おこしの枠を超えて複合酵素を農林業や漁業、製造業などさまざまな分野で役立ててもらいたい。そのような気持ちで取り組む一方で、地元企業の環境ビジネス進出も後押ししてきました」とシニアマネージャーの武内啓一さん。

そのほかにも、同社は地元企業とともに飼料米の稲わらのバイオエタノール化の実験も続けてきた。先月には、インキュベーションセンターに実証プラン

トを設置して精製法を改良した。代替燃料として採算性が見込めそうな上、化粧品の原料なども作れるという。「事業化が進めば、耕作放棄地の利用も促進されます。収益力が上がるほか、害獣のすみかとなっている竹やぶの竹もバイオエタノールの材料に使えるため、周辺地域の農業にも幅広い波及効果が及ぶことでしょう」と武内さん。

野菜からエネルギーまで どんな事業創出も地域を元気づける

このようなプロジェクトの一つから誕生した植物工場で栽培されたツブリナ（アイスプラント）が、長浜の特産品に育ちつつある。ツブリナとは、葉や茎にミネラルなど機能性成分を多く含む野菜で、アンチエイジングや血糖値を下げる効果があることが研究でわかった。

このようなバイオクラスター発のシーズが地域活性化に直結した例は数多くある。その効果が及ぶ範囲も「日常の食」から「エネルギーの未来」まで実に多様だ。「新たなビジネスが生まれれば雇用が創出されて、長浜や湖北はより活性化します」と大塚さん。「国際競争の激化などで湖北の地場産業が元気を失った今、バイオや環境を切り口に事業の創造こそが地域の未来を開



植物工場で栽培された「ツブリナ」

くカギだと考え、この会社を始めました。規模も実績も問わず、事業創出や起業を志す人を私たちが全力でサポートします」。

さまざまな分野の専門家が きめ細かく支援する「NAST」

このバイオクラスターの下、長浜バイオ大学や滋賀医科大学、立命館大学、龍谷大学などの教授陣が参加するNAST（長浜アカデミックサポートチーム）も結成された。事業創出を目指す企業を医療や農業、環境、ゲノム、マーケティング、デザインといった幅広い専門家が技術と知識でサポート。研究開発や技術開発の支援のほか、産業への移転のためのシーズも提案する。

一方、市民の“夢の芽”を育てる事業支援室「Dream+（プラス）」も今年5月、長浜バイオインキュベーションセンターにオープンした。NPO法人を立ち上げたい。育児に関わるビジネスを始めたい。そんな段階から無料で入居できる個人向けインキュベーションルームだ。「事業の展開から個人の夢まで、地域のためになることなら幅広く支援して、湖北で働く人を増やしたい」と大塚さん。産官学に「地域の情熱」が加わった力強い取り組みだ。



市民の夢をサポートする「Dream+」